

第5章 分野別計画

分野別計画の施策の見方	38
健康・医療分野	41
福祉分野	49
都市基盤分野	59
産業・観光分野	75
安心安全分野	85
環境分野	99
教育分野	107
生涯学習・スポーツ・文化分野	115
協働・共生分野	127
行財政分野	137

第5章 分野別計画

分野別計画の施策の見方

基本計画は、10分野41施策で構成されています。分野別の各施策については、見開きの2ページで内容を説明しています。また、施策の目指す姿、現状と課題、施策の基本方針、施策の展開の番号はそれぞれに対応しています。

施策名

基本計画の施策体系上の番号と名称です。

施策の目指す姿

施策を推進した結果、5年後の市民や本市がどのような姿になっているのかを記述しています。

現状と課題

施策を推進する理由となる、社会的状況や本市での現状と課題を記述しています。

関連データ

施策の現状や課題、まちづくりの指標に関連するデータや資料を掲載しています。
※住民基本台帳法の改正に伴い、住民基本台帳人口については、平成24年7月までは日本人だけの人口ですが、平成24年8月以降は日本人と外国人の人口の合計です。

市民の実感 (H26市民意識調査)

施策に対する市民意識調査での市民の満足度を掲載しています。

第2次
Iseki City Comprehensive Plan

1-1-1

健康づくりと疾病予防の推進

● 施策の目指す姿

- 健康づくりの機会を活用し、市民が自ら積極的に健康づくりに取り組んでいます。
- 母子の健康の確保への支援体制が整い、保護者が安心して子育てができ、子どもが心身ともに健康に成長しています。
- がんや生活習慣病などの予防や早期発見により、市民が生き生きと健康に暮らしています。
- こころの健康への支援や理解により、こころの病気にかかる人が減少しています。

● 現状と課題

- 生活様式の変化などにより、生活習慣病の増加などが社会的な問題となっています。健康への関心は高まりつつあることから、予防や改善に取り組むための健康づくりの拠点となる施設や設備の整備、実践の機会や情報の提供などが求められています。また、地区組織の活動の活性化を図り、地域での健康づくりを推進する必要があります。
- 妊娠の届出や出生数は緩やかに減少傾向にありますが、乳幼児健診受診率は80%から90%を維持しています。様々な社会状況の変化などにより、育児に不安を抱く親が増えていることから、相談業務の充実や仲間づくりなど、妊娠からの多様な子育て支援が求められています。
- 死亡原因の1位であるがんの検診受診率は低迷が続き、さらなる受診率の向上対策が必要となっています。また、生活習慣病の発症や重症化への予防の取り組みは、健康寿命の延伸、医療費の抑制につながるから重要です。感染症対策では乳幼児や高齢者への予防接種、結核検診に加え、新型インフルエンザなどへの新たな取り組みが求められています。
- 社会環境の変化などに伴う悩みやストレスから、うつ病などのこころの病気にかかる人が増加しています。こころの病気を放っておくと自殺につながるおそれもあり、早期発見や早期対応のためのこころのケア体制の充実と強化が重要です。

● 関連データ

■ 健康づくり事業への参加者数

年度	参加者数 (人)
H21	3,804
H22	3,909
H23	3,239
H24	5,859
H25	7,169

■ がん検診受診率

年度	胃がん (%)	大腸がん (%)	肺がん (%)	子宮頸がん (%)	平均 (%)
H21	24.1	20.3	17.5	17.2	49.3
H22	25.7	22.4	18.0	17.6	48.3
H23	26.7	25.7	18.0	18.0	45.3
H24	27.0	26.6	18.8	19.1	46.2
H25	27.7	26.9	18.9	19.2	45.7

■ 3歳児健診受診率

年度	3歳児健診受診率 (%)
H21	82.9
H22	84.7
H23	84.1
H24	88.0
H25	89.1

● 市民の実感 (H26市民意識調査)

本施策「健康づくりと疾病予防の推進」について「満足」または「どちらかという満足」と回答した市民の割合 **68.6%**

施策の基本方針

- 健康づくりを推進する環境を整備し、市民の健康意識を高め、健康の維持と増進に取り組む市民を増やします。
- 母子保健サービスの充実を図り、乳幼児の成長発達、保護者の育児を支援し、健康で元気な母子の育成に努めます。
- 成人期からの健康増進や疾病予防を推進し、高齢期を元気に過ごせるよう支援します。
- こころの健康の維持を支援する環境や体制を整え、こころの健康づくりや自殺予防の取り組みを推進します。

施策の展開

- 市民の主体的な健康づくりへの支援
 - 健康づくりの拠点整備
 - 健康づくり地区組織の育成と活動支援
 - 健康づくり自主組織への支援
 - 健康の日の普及と啓発、実践の場や機会の提供
 - 食育の推進
 - 正確、迅速な健康情報の提供
- 母子保健サービスの充実
 - 妊婦健康診査や不妊治療助成などの充実
 - 妊産婦支援体制の構築
 - 乳幼児健診の充実・強化
 - 乳児全戸訪問の推進
 - 予防接種の円滑な推進
 - 発達支援、就学支援、虐待予防など関係機関との連携の推進
- 疾病の早期発見、早期対応と重症化予防
 - がん検診受診率向上対策の推進
 - 糖尿病などの生活習慣病予防対策の充実
 - 結核、新型インフルエンザなどの感染症対策の推進
 - がん患者などの社会参加を促す支援
- こころの健康づくりへの支援
 - こころの健康の普及と啓発の推進
 - 相談体制の整備
 - 自殺予防対策の推進
 - 精神障害者と家族への支援
 - 関係機関との連携の推進



※健康づくり地区組織
行政と市民のハイブ役となり、健康増進に向けての活動を地域で推進する組織。健康推進員、食生活改善推進員、子育てボランティアなど。

※健康づくり自主組織
健康増進や疾病の重症化予防に向け、市民が主体的に活動する組織。

※健康の日
健康について意識し、自分ができる健康行動を実行する日として、健康教室を開催している。毎月第一日曜日。

施策の基本方針

施策を推進していくうえでの基本的な方針を記述しています。

施策の展開

課題の解決に向けて、基本方針に基づいて取り組む具体的な方策を記述しています。
『●』と『○』、『・』は主な取り組みを記述しています。

用語の解説

本文中で使用している専門用語や意味のわかりにくいものに※印を付け、解説しています。

関連計画

施策に関連する計画などを掲載しています。

まちづくりの指標(成果指標)

施策を推進することによって得られる成果を客観的に評価するための指標です。現状値は平成25年度、目標値は平成31年度としていますが、統計の集計や公表時期などにより年次が一致しない指標は、かっこ書きで表示しています。

関連計画

健康いせさき21(第2次)健康増進計画・食育推進計画(平成27年度～)
新型インフルエンザ等対策行動計画(平成26年度～)

まちづくりの指標(成果指標)

指標名	現状値 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	解説・算出方法など
健康づくり事業への参加者数	7,169人	7,500人	はつらつ健康教室や健康まつりなどの健康づくり事業に参加した人数
3歳児健診受診率	89.1%	94.0%	3歳児のうち、定期健診を受けた幼児の割合
がん検診受診率	26.9%	40.0%	がん検診(胃・大腸・肺・子宮・乳)対象者のうち、それぞれの検診を受診した人の割合の平均